

議員全員協議会 要点記録

(令和7年3月10日)

愛 南 町 議 会

愛南町議会議員全員協議会要点記録

本日の会議 令和7年3月10日（月）
招集場所 議場

出席議員

議長	佐々木 史仁	副議長	鷹野 正志
議員	尾崎 恵一	議員	嘉喜 山茂
議員	池田 栄次	議員	吉田 茂生
議員	少林 法子	議員	金繁 典子
議員	原田 達也	議員	中野 光博
議員	山下 正敏	議員	那須 芳人
議員	吉村 直城		

欠席議員

なし

職務のため出席した者

議会事務局長	本多 幸雄	主幹	小松 一恵
--------	-------	----	-------

説明のため出席した者

（総務課）

課長	立花 慶司	主事	岡崎 龍輝
主事	鎌田 竜乃介		

（企画財政課）

課長	清水 雅人
----	-------

（会計課）

課長	前田 美保
----	-------

（建設課）

課長	吉村 克己
----	-------

（商工観光課）

課長	兵頭 重徳	主幹	大森 安洋
課長補佐	蓮田 修平	課長補佐	脇田 弘樹

（水産課）

課長	濱 哲也
----	------

（水産課海業推進室）

室長	浜辺 隆博
----	-------

(農林課)			
課長	松 本 仁 志	主幹	田 村 智 之
(消防本部)			
消防長	浅 海 宏 貴		
(消防本部庶務課)			
課長	守 口 庸 夫	主幹	橋 岡 政 明
課長補佐	岡 下 崇		
(防災対策課)			
課長	土 居 章 二		
(税務課)			
課長	山 本 光 伸		
(町民課)			
課長	飯 田 英 功		
(保健福祉課)			
課長	中 川 菊 子		
(保健福祉課子育て支援室)			
室長	土 居 純 子		
(高齢者支援課)			
課長	大 間 知 伸 一		
(養護老人ホーム南楽荘)			
施設長	加 洲 能 子		
(環境衛生課)			
課長	山 本 正 文	課長補佐	谷 岡 誠 司
(水道課)			
課長	中 道 泰 生		
(内海支所)			
支所長	横 山 修 治		
(御荘支所)			
支所長	宮 本 良 也		
(一本松支所)			
支所長	入 江 昌 晃		
(西海支所)			
支所長	伊 田 光 洋		
(生涯学習課)			
課長	織 田 浩 史		
(学校教育課)			
課長	坂 本 一 利	主幹	池 田 大 作

課長補佐 二 神 裕 暁
（学校給食センター）
所長 和 田 幸 雄

課長補佐 西 田 季 史

本日の議員全員協議会に付した案件

【予算勉強会】

1 一般会計

開 会 10時00分

閉 会 16時18分

【予算勉強会】

区 分	時間割		担当課	補足説明	時間
一般会計	①歳出（款別）	1款 議会費	議会事務局	○	10:00 ～ 10:02
		2款 総務費	総務課	○	10:02 ～ 10:55
			企画財政課	○	
			町民課		
			建設課		
			税務課		
			会計課	○	
			各支所		
			商工観光課	○	
			防災対策課 外	○	
		3款 民生費	保健福祉課	○	10:55 ～ 11:06
			高齢者支援課	○	休憩 11:06 ～ 11:16
			外		11:16 ～ 11:41
		4款 衛生費	町民課		11:41 ～ 12:03
			保健福祉課	○	休憩 12:03 ～ 13:30
			水道課		13:30 ～ 13:37
			環境衛生課 外	○	
		6款 農林水産業費	農林課	○	13:37 ～ 14:29
			水産課	○	休憩 14:29 ～ 14:40
			生涯学習課 外	○	
		7款 商工費	商工観光課 外	○	14:40 ～ 14:49
		8款 土木費	建設課	○	14:49 ～ 15:03
			各支所 外		
		9款 消防費	消防本部	○	15:03 ～ 15:21
		10款 教育費	学校教育課	○	15:21 ～ 15:58
			生涯学習課 外	○	休憩 15:58 ～ 16:08
		11款 災害復旧費	農林課他		16:08 ～ 16:09
		12款・13款・14款公債費 外	企画財政課 外	○	16:09 ～ 16:10
	② 1款 町税～21款 町債 歳入全般		税務課 各課	○	16:10 ～ 16:16
	③第2表、第3表		各課		16:16 ～ 16:18

- ・予算勉強会（一般会計）は日程表のとおり進行した。
- ・追加資料：高齢者支援課、総務課、水産課、環境衛生課に対し資料要求を行った。
- ・質疑応答は次のとおり

一般会計

(歳出 1款)

質疑なし

(2款)

金繁議員

町長の予算編成方針増額だけでなく、減額事業は。

清水企画財政課長

予算編成方針にはあるが、現段階では明確なものはない。令和7年度に仕分けするということに重きを置いている。行政評価をして縮小すべきものは縮小するという方向で進めていきたいと考えているところ。8年度に反映されるかどうかはこれからの事務作業による。

少林議員

85ページ、地域おこし協力隊4名の行き先。

105ページ、防災倉庫の工事、令和7年度で全て設置の予定について。

土居防災対策課長

愛媛県の補助業を活用し、津波避難場所への防災倉庫の設置、津波一時避難場所までの防災等々の設置の整備の事業。現段階では、令和5年度から令和7年度までの3か年事業。現在のところ、防災等10か所誘導標識1か所、防災倉庫10か所の整備。自主防災会の会議等で、その旨事業の説明して、まだ防災倉庫等の設置をされていない地域については、候補予定地の選定並びに要望をお願いしているところ。

清水企画財政課長

西海地域の観光振興に1名、水産振興に1名、観光振興に2名を予定。

尾崎議員

87ページ、移住コーディネーターの活動

清水企画財政課長

空き家バンクの掘り起こし、各種移住フェアに出向いて相談業務。

尾崎議員

子育て世代の移住者を増やすための具体的な施策は。

清水企画財政課長

具体的に若い世代に対して特別な支援を上乗せするというような施策は決まってない。全般的な愛南町における子育て支援を充実することが、ひいては移住者の魅力的なまちとして映ることになるかと思う。住宅改修の面で、一部そのような検討をする予定ではあるが、今のところ明確な方向性は決まってない。

鷹野議員

71ページ、行政協力員事業、組入り世帯数。各自治区の区費とか自治会費の格差について。

105ページ、災害時要支援者支援事業、災害時要支援者の支援システム保守管理委託料。個別計画策定委託料について

立花総務課長

令和5年度の町全体の地区の加入世帯割合は72.1%、平成30年の時点が74.4%加入を促すための取組は、年度当初に行政協力員総会で、意見交換をしてその際に各地域の行政協力員の皆様に、自治会加入の勧めという手引を作成、渡している。各自治会のほうで加入促進をいただいている。

地域振興費の金額は、合併当初は5000円、平成24年に、委員会で協議をされた経緯を踏まえ、1000円上げて現状では1世帯当たり6000円交付。

毎年度地域振興費の計画並びに実績を提出。地区のほうから具体的に、地区運営について、地域振興費について意見は寄せられてないので、現時点では、金額の改定は考えてない。今後については、地区会費が当然異なるところがあるが、その部分は、各地区の活動内容、あるいはその管理している内容等々があるの

	で、町として具体的に地区会費の在り方については、具体的な検討には助言等はなかなかできかねる。
鷹野議員 立花総務課長	各地区で行事が減っており、積極的な活動を復活させるために必要なことだと思う。小規模な地区では、地域振興費満額使えないということで、実績がなく返還等の状況は一部ある。 総体的に、地域活動が停滞、縮小ぎみであるというところは、御意見のとおりだと思うが、愛南町では公民館の活動の中で地域支援というところも位置づけているので、地域活動等の部分については、公民館主事と連携をとりながら地域の活動が何とか活性化できるようなサポート支援は行っていかなければならないと考えている。
土居防災対策課長	災害時要配慮者支援事業について、今年度は、職員による訪問調査実施等、計画策定でしたものを社会福祉協議会や町内の居宅介護支援事業者等によって個別避難計画の策定のほう順調にできている。昨年度まで計画策定率で10%未満、8.44%だったのが、現在、約20.5%まで、順調に計画策定のほう伸びており、現在まで1番最低ランクが2ランクアップするような状況になっている。今後も社会福祉協議会、民生委員様、居宅介護支援事業様の協力により、個別避難計画も、計画的に策定できればと考えている。
鷹野議員	地区民生委員、高齢者支援課、社協、横断的に、協力体制を結んで、常に月に1回は情報交換するとかそういった内容的にはどうか。
土居防災対策課長	防災対策課の職員も強化したということもあり、役場内の関係課、保健福祉課、高齢者支援課、地域包括との定期的な情報共有であるとか、社会福祉協議会や町内の居宅介護支援事業者についても、防災対策課の職員が訪問し、情報の共有は重ねている。
吉田議員	103ページ、自主防災組織活性化支援事業。防災士の資格を取るための100名の費用については理解できるが組織化という仕組みづくりについてどう考えているか。 105ページ、マンホールトイレ整備事業、何か所に設置予定か。
土居防災対策課長	自主防災組織活動支援事業は、防災士養成のに力を入れていく。組織づくりについては、現在、防災士有志の方々が中心となり、防災士の横のつながりができる組織の形成に取り組んでいただいているところ。そちらの組織が中心となり、各自主防災会での防災学習や防災訓練についても中心的な役割を担い、町内の防災力の向上に努めたいと考えている。 2点目のマンホールトイレの整備事業は、整備予定1か所、一本松交流促進センターの駐車場を予定。整備費が高額なため、令和8年度以降は、7年度の整備状況を確認する。ラップ式のトイレの整備も含めた一体的な避難所におけるトイレの整備に努めたい。
金繁議員 清水企画財政課長	燃料代と電気代について 電気代はタブレットに掲載。会計別の燃料代として一般会計は、昨年度より65万2000円ほどの増額。率は1.3%程度。予算編成の際に、燃料代の単価は示すが、目標数値はないので、各課の実情によって決めるということになっている。

金繁議員	職員数の変動は。
立花総務課長	401ページ以降にそれぞれ一般職、会計年度の人数を掲載。
金繁議員	71ページ、会計年度任用職員管理運営事業、30数名募集をしたが不足している状況か。12月議会で、検討し実施した会計年度任用職員に対するアンケート内容と結果について、資料を求めたい。
立花総務課長	会計年度の募集は、基本的には退職者等の補充という形で募集を行っている状況。アンケートは提出する。
金繁議員	81ページ、公用車管理事業、来年度削減台数。
立花総務課長	今年度策定した公用車管理適正化計画では、9年度までに計16台削減の目標。車両の状況を見ながら廃車とするのかどうか考えていきたいと考えているので、来年度具体的に何台とは現時点で数値は掲げてない。今年度は4台の削減をしている。
金繁議員	91ページ、来年度の各支所の職員数の増減について。
立花総務課長	当初予算の要求段階では、職員の増減数を踏まえての計上はない。
金繁議員	103ページ、ブロック塀の安全対策事業費補助金の補助率。
土居防災対策課長	当初予算要求時について補助率の変更はない。
金繁議員	113ページ、コミュニティーバス、公用車購入費は、新たに愛南バスのバスを購入か。買い替えの基準に則っているか。
立花総務課長	現在、一本松路線を走っているバスの更新で基本的には基準どおり。愛南バス、毎日100キロ強を走行している。通常の公用車の基準とはちょっと異なることは御理解頂けると思う。もう一つは愛南バスはスライドドアで乗降のため車両環境に応じた確認をし、更新基準というように考えている。
吉村議員	危機監督官の仕事について。実績は。
	来年度もこれ、そのまま採用か。給与は。
土居防災対策課長	防災対策課に配属。主な業務は、各自主防災会、学校、企業等から申請により防災に関する出前講座、防災の講習会、防災訓練について指導を担当。
	令和5年度の実績ベースで全体で61。参加者が1856人。
浅海消防長	給与、人事に関し答えはできない。
金繁議員	71ページ、行政協力員事業の各地区の委託料を地区別に一覧を資料要求。
立花総務課長	提出する。
金繁議員	行政協力員への業務委託料、愛南町は税金を徴収することを委託していた時と変わらない委託料を支払っている。内子町は基本年間10万円プラス1件当たり数百円という計算。税金徴収をしていないということからも、業務の見直しとそれに見合った報酬ということに考え、検討してはどうか。議会も原価計算方式で見直した。行政協力についても原価計算に基づいて見直すべきだと思う
立花総務課長	業務の見直しは課内協議した経緯があり、各地区において広報紙や行政情報の配布について外部機関の事業者へ委託を試算したが、金額が高額で実現は難しいと当時判断した。金額等の設定には、愛南町においては合併後以降、行政協力員の委託料という形でしている。世帯が減っていること、また、行政協力員の確保が難しいというような声もあるので、継続的に協議の案件だとは捉えている。

鷹野議員	行政協力員の委託。地区によって区長手当から組長手当を捻出。 その実態把握について。
立花総務課長	地区ごとによって運用が違っているというところは、間接に聞いたことがあるが、詳細な把握は行っていない。地域振興費の関係で実績報告が町内行政区から出てくるので、決算からの数字を拾うことは多分可能。時間がかかるが、その数字については把握をしていく。
金繁議員	各地区の自治に委ねるというのが原則ではあるが、自治が崩壊してるという現実を目を向けて、再検討するべきではないか。ある程度そのガイドラインを町で作ることを検討。
立花総務課長	行政協力員委託料は、世帯数に応じて、小規模な世帯で1世帯当たり5000円、大きな地区の世帯数で200世帯以上超えれば、2000円という形で、一定程度の区分をつけている状況である。10世帯を下回っている行政区も出てきている現状がある。公民館の地域活動の在り方にもリンクすると思うので、双方での情報を連絡を密に、デリケートな話にもなり一長一短にいかないと思うが、当然課題として受け止め、可能なサポートは行ってまいりたいと思う。 行政のほうが一方的に世帯数だけで取組を推し進めていくと、地域でのそれぞれの営みもあり、かえって混乱することも懸念され、十分に配慮していきながら対応したい。地域振興費の金額の在り方等々についても、町財政全般の中で協議をと考えている。現状実態把握に十分に努めたい。
(3款)	
原田議員	129ページ、シルバー人材センターの補助事業。会員について
大間知高齢者支援課長	会員数、令和5年4月1日現在79名、6年4月1日が75名で、減少傾向。会員の募集はシルバー人材センターのほうで鋭意行っているものと認識しているが、増加には至ってない。高齢化により体力的に厳しい。会員を増やす策についてセンターに投げかけたい。 草刈り1時間当たりの配分金が930円、土砂撤去、剪定等1030円の定めがある。
少林議員	良い評判を聞かない。女性ができる仕事、宣伝もない。
大間知高齢者支援課長	宣伝等の詳細については把握はしておりませんが、テレビCM、シルバー人材センターの募集をしている。評判の件は入っていない。
原田議員	シルバー人材センターの決算資料の提出を依頼
大間知高齢者支援課長	提出する。
金繁議員	131ページ、包括的継続ケアマネ支援。 介護認定に時間がかかるという課題は愛南町にないか。
大間知高齢者支援課長	ケアプランのケアマネの資質向上を図る事業。介護認定は、申請後、認定調査員が家庭を訪問し調査、並行して、主治医に意見書を取り寄せ、一次評価をし、認定審査会、専門家による審査2次審査ということで、介護度等の決定に至るという流れをとっており、大体1か月前後かかる。
金繁議員	163ページ、子育て支援。室から課へ変更するにあたり、課長職が増えるのか職員数の増減について

立花総務課長	現在室長も管理職の位置づけなので、課になったとしても管理職は増えない。所属内職員数の増減については、人事の関係のため答えは控える。
土居子育て支援室長	現在、子育て支援室の業務に結婚支援関係が企画財政課政策推進室から移管されるので、結婚から子育てまでというようなところで、来年の事業は考えている。
金繁議員	5級で異動したのか。全体の予算は分からないか。
土居子育て支援室長	令和7年度要求予算というところで保育所関係も一緒に6億8287万5千円。
立花総務課長	子育て支援室が、室長含め正職員が5人、会計年度のフルタイム勤務が1人そのほか放課後児童クラブの職員が、現状の組織体制では子育て支援室に位置づけ。
金繁議員	シルバー人材センターについて、補助金を上げ180万円になった積算根拠。 180万に上げたことによって、どの程度、今の課題が改善される考えか。
大間知高齢者支援課長	60万円の増額によって、作業をお待たせする期間の短縮であったり、とかいいうところの分析までは正直できていない。インボイスの関係、車両3台更新も必要であるところを踏まえた。
那須議員	シルバー人材センターは、3800万ぐらいの事業費で推移している。愛南町になってから段階的に下げて120万になった。昔から要望あったが、新町長になって1.5倍になった。どういう経緯でこれが1.5倍になったのか。
大間知高齢者支援課長	1番、大きい要因は、令和5年10月から開始されたインボイス制度。シルバー人材センターが納めないといけない消費税が約130万から140万増えた。今まで会員個人が事業者で、消費税を納める必要がなかった分の新たな税負担が増えた。これらも含め、受託事業収入の減であるとか、物価高騰とあわせて、増額の要望があって、理事者とも協議の結果、60万円ということで増額を決めた。
吉田議員	167ページ、柏保育所の大規模改修工事について
土居子育て支援室長	外部改修、照明設備LED化改修工事、未設置であった遊戯室への空調機器の新設工事。
吉村議員	181ページ、一本松保育園の空調は。
土居子育て支援室長	一本松保育所の遊戯室は、未設置であったので今回新設する。
吉村議員	保健センターの風呂の件について、理事者と協議してきたのか。
中川保健福祉課長	城辺保健福祉センターの入浴施設のことについて、理事者と協議をした。現在登録は40名ほどいる。入浴施設を利用されている方自体は、20名以下となって少なくなっているところではあるが、利用者の中に、自宅にお風呂がない、故障していて改修が難しい等があって、生活困窮等、高齢者のセーフティーネットというところでの役割があるので、継続を考えている。
金繁議員	181ページ、保育士就職支援事業。引っ越し代だけでなく、保育士に、専門職手当を払わないと持続可能ではない。
立花総務課長	愛南町の職員採用は、保育士、保健師等も含め、初級で募集を行っている。大きな自治体であれば、中級で職員採用募集を行っている。愛南町では初級で募集を行っていることから、ほぼ有資格者についても、特段金額に反映されていないということが現状で、手当等は支給はしていない。
金繁議員	優秀な専門職の方がUターンしてきても愛南町が専門職扱いじゃなくて、すごく不

立花総務課長 公平感を持っているっていう声を聞く。内部で話し合ったことはないか。
手当関係全般で手当の支給の在り方については、協議がなされて、内容によって見直しを行っているところ。専門職への手当支給は所属から協議案件としてあがってきた記憶はない。

(4款)

池田議員 203ページ、带状疱疹予防接種事業について分かりやすい周知を。

中川保健福祉課長 带状疱疹ワクチンが今年4月から65歳以上5歳刻みで定期接種。愛南町は昨年度から、50歳以上の方に任意接種で接種を進めているので、任意と定期が混在している。対象者となる定期接種の方には案内をして希望者に接種券を送付する。任意接種の方には広く周知をして、希望者に連絡頂く。

金繁議員 213ページ、環境衛生センターの管理運営事業。

山本環境衛生課長 以前、粗大ごみは自宅まで取りにくるサービスがあったが今はどうか。

粗大ごみの搬入は以前は町で実施していた経緯がある。平成29年度から一般廃棄物の処理業務が宇和島の広域事務組合のほうに移行することから、当時の担当課が、現状を踏まえ民間と協議をした結果、27年12月から町内の許可業者に業務を依頼するような運びになっている。現在のところ民間業者によるサービスを継続していきたい。

金繁議員 町が取りに来てくれたときと、民間は同じ料金体系か。

山本環境衛生課長 粗大ゴミの処理について直営時は、2トントラックユニック付きで実施。回送費として町内、一回あたり2,000円で、処分費10キロあたり100円で対応した。
次に民間業者の金額等、業者に確認し、現在は軽トラで回収する場合は16,500円、2トントラックで回収した場合は33,000円となり、遠隔地は費用に1,000円加算される。これは直接、宇和島広域事務組合の方に直接処分費込みでする費用。訂正:例えば、100キログラムで粗大ごみを依頼した場合、町直営では3,000円、民間では16,500円。また、200キログラムでは町直営では4,000円、民間ではそのままの16,500円となる。

鷹野議員 213ページ、ごみ袋の購入、取扱い事業。手数料、業者数。

山本環境衛生課長 町民はゴミ処理に何%負担しているか。

町内の販売店数は、現在57箇所販売。売り払い手数料は愛南町の廃棄物手数料処理及び清掃に関する条例の13条による規定で、指定のごみ袋の販売を委託した場合の手数料は取扱金額の10%。ごみ処理費用の関係、令和5年度の実績で説明。収入は、ごみ袋の売り払いの収入が令和5年度は3,075万9,000円。ごみ袋購入に係る消耗品として5年度は1,661万円、売り払いの支払い手数料が307万5000円、ごみ集積の運搬費用が年間9,900万円、宇和島広域事務組合分担金として1億1,116万1,000円。歳出合計で2億5,884万6,000円。約12%の負担。

金繁議員 ごみ分類別で直近5年の推移。処理にかかる費用。

山本環境衛生課長 3件資料提出する。

少林議員 211ページ、海岸漂着ごみ

205ページ、水質検査PFASについて

	215ページ、環境衛生備品の購入費のゴミ袋について
山本環境衛生課長	海岸漂着物の件は地元住民や漁業者が集めたごみ、それを無償で回収、また処分をするような形で、処分業者については今後試算という形で対応させてもらう。水産課でも立入り困難の場所のごみ回収があるので環境衛生課と水産課がタイアップしたような形で対応させていただいている。 水質検査のPFASは、水道課が対応してくれていると考えている。 プラごみの件は、宇和島広域事務組合のほうで考えているところ。ストックハウスに透明の袋で直接持って来くる形を今考えているので、今のところ新しいごみの袋をつくるという考えではない。
中道水道課長	PFASに関しては、水道課で水質検査を令和6年度に1回行っており、基準値を下回っている。
嘉喜山議員	215ページ、環境衛生備品の購入費。広域のごみ発電に影響はないか。
山本環境衛生課長	広域事務組合がごみを燃やした時の熱量で電気を起こしている。宇和島市が実証実験を行っており、回収する品目を選定し、集めている。令和8年度の実施に向けて、広域事務組合の構成市町の方で品目等を協議中。
嘉喜山議員	焼却後、その最終処分場の埋め立ての件。今後新しい処分場を造らないといっぱいになってしまうがその進捗状況。
山本環境衛生課長	本町の最終処分場の処理可能年数は、近年の実績を参考にすると、まだ10年から15年ぐらいは入れることができるが、広域の方でも新たな最終処分場の場所の選定を進めていくような話が出ている。どこにするかは決まっていない。
金繁議員	205ページ、地域猫対策支援事業。どのような計画か。
山本環境衛生課長	例年ある予算で、県獣医師会への町の負担金。
金繁議員	地域猫に対する理解が全く、愛南町では進んでいないということで、啓蒙活動など、提案してきたが、来年度何か実行はあるか。
山本環境衛生課長	猫について苦情のめかなり寄せられているが、地域猫活動の取組について住民の理解と協力が欠かせない。行政としても情報提供や啓発活動、積極的に活動に対しては関与しながら、地域猫活動の目的や方法を改めて住民の皆様に説明を行い分かりやすく、まとめた資料を環境かわら版や広報等に掲載して周知を図っていきたい。
立花総務課長	91ページから97ページにかけ金繁議員から、各支所の予算要求段階の人数について問われたところで、具体的な人数を申し上げられませんでしたので、ここで報告。内海支所4人1減、御荘支所5人1減、一本松支所4人1減、西海支所4人前年度と同人数という内訳でそれぞれの支所の予算要求。
(6款)	
尾崎議員	221ページの農業次世代人材投資事業 今後新たに就農希望する方の情報とか動向を町は把握しているか。
松本農林課長	新規就農者の数は継続して経営開始、次の資金を5年間、3年間というような形で制度自体が、5年のときもあれば、3年に短縮されたりということで今回人数がちよっと減ったような形になっている。新規就農に関してはJA、農業関係団体と情報共有をし

	ながら、必要な支援に取り組んでまいりたいと考えている。
鷹野議員	233ページ、森林整備担い手確保育成事業あるいはその下のアドバイザー事業、森林整備担い手確保育成対策事業、という項目があり、同じ項目がある。
松本農林課長	上段が事業の内容が直接担い手確保に資するもので、下段が環境を整備することによって、間接的に、担い手育成につながるという形でこれまで分けていた。次回からまとめて計上する。
鷹野議員	町有林の間伐採とか枝打ちとか、中長期的な計画はあるか。
松本農林課長	森林整備計画を策定しそれに沿って進めていくようにしてはいる。愛南町は森林組合しかないような状況にあり、毎年民有林も含めまして計画を立てて、森林組合と協議をしながら進めているが、進捗は、計画どおりにいかない部分もある。
鷹野議員	森林組合との密接な関係でこういうアドバイスを受けてるから、町有林の今後の管理、毎年こうだから、今年は同じだけの金額の予算設定だったら今後駄目だと思う。所管事務調査でいろいろまとめて報告したが予算に反映されてるか。
松本農林課長	森林環境譲与税を有効に使ってということで、次年度を令和7年度に計画をしている事業に関しては、民間の民有林、これを森林経営管理制度に基づいて、間伐をするというような委託業務、森林整備を目的とした例えば作業道の整備の支援、森林組合への支援に担い手育成対策等、今年度の予算でも計上している。
山下議員	種子島のロケット打ち上げの協力金について
濱水産課長	対象となる取組事業等が、両漁協から出ていない。種子島事業も、毎年愛南町、両漁協に交付される補助金ではない。県内では八幡浜、そして愛南町の2市町だけで、そのほかにも九州などにも当該補助金が該当する漁協がある。その漁協などで取り組む事業に対しての補助金になるため、今回はその対象となる事業が愛南町の両漁協は、今はない。今後そういった事業が出て、補正予算で計上するケースはある。
金繁議員	233ページの森林環境整備事業。伐採後の植林について 森林組合の職員数、年代別。
松本農林課長	植林については、伐採のやり方、間伐の場合はもう植林はしない。全伐皆伐になると同じく森林組合に植林も委託をする。そういった経費を差引きで収入があれば入ってくるというような形で委託をしている。 森林組合の人数が全部で15名、作業員の年齢構成が、30代2名、40代6名、50代4名、60代1名、で13名。作業員でない20代女性が1名、80代組合長1名。
金繁議員	植林は針葉樹か。海との関係を考えれば針葉樹植えるよりも広葉樹等を植えるような計画はないか。
松本農林課長	今年度は間伐が主で植林は恐らくなかったと思う。植林をしても鹿の食害であったりとか、そういったものに強い樹木であったり、例えば杉花粉そういった問題であったり、そういったことを総合的に考慮しながら森林組合と話をしながら進めていければと考える。
金繁議員	237ページ、カキ養殖経営支援事業費補助金 カキ業者、廃業が相次いでるという話がある。直近3年ぐらいのカキ業者数推移。御

濱水産課長	荘でできれば御荘以外に分けて。生産者数、生産量、生産額も、できれば5年の資料要求。貝類安定出荷促進事業。稚貝に対する購入補助は今どうなっているか。 稚貝の補助はビルナウイルスが発生したときに補助した。毎年、ビルナウイルスの被害はあるが、担当者そして漁協と力を合わせ強い稚貝を生産しそれで賄っている。やはり死滅する原因にそのウイルスはあるけども今はその補助については、ビルナウイルスが蔓延したときのみになっている。 真珠業界が年々生産量は確かに低下しているが、単価自体が好調で、別途補助金を出すというのは、愛南町では見送っている。
山下議員	新規魚種導入、スマの導入率。
濱水産課長	町内の養殖業者は、大手がなくなり2社、令和7年度の導入見込みが、1万7000尾。養殖実用化推進事業補助のところではスマのみ、サツキマスやマサバなどの技術研究に委託をかけている。
金繁議員	真珠養殖業者数の推移と生産量及び額、5年の推移を資料要求。
濱水産課長	業者数は提出する。生産量と額は提出しない。
少林議員	令和7年度の予算は2億8000万円台と2億円減っている。農業のてこ入れは。
松本農林課長	前年度に比べたら1600万円ほどの減額。スマート農業の取組に次年度からかかるかというところで計上している。
金繁議員	農林課には女性職員がいない。
松本農林課長	正職員に関しては、農林課は女性ゼロ、会計年度任用職員は2名。
原田議員	223ページ、有害鳥獣捕獲隊等育成事業補助金、狩猟免許取得補助事業について
松本農林課長	223ページ、有害鳥獣捕獲隊等育成事業費補助金は猟友会、わなの会の、免許の更新にかかる補助金。233ページ、狩猟免許取得補助金は、新たに免許を取る補助金。狩猟免許の更新は、大体3年に1回の更新で全部で100。
嘉喜山議員	219ページ、町青果市場運営費負担金なんですけど、青果市場自体の経営状況は。
松本農林課長	以前に比べ町からの補助金も減ってきている。次年度の要求55万円となっているが、今まで大きかったのは人件費で、現在は地域おこし協力隊員の協力により、その部分が浮いている。
原田議員	来年度で協力隊たしか任期が終わるが以降も、やはり、地域おこし協力隊を配属をさせる計画か。
松本農林課長	農林課では要望していない。
吉村議員	青果市場は業績が上がっているが、先ほどの質問に業績の件も回答すべき。
松本農林課長	確かに人件費以外にふるさと納税の返礼品事業等で、経営の改善は見られている。大変申し訳ありません主に人件費が大きかったのでその部分を省いて申し上げた。
吉村議員	ヒヨドリ被害の把握、理事者協議と予算計上は。
松本農林課長	猟銃捕獲は買い上げ、取付あみ等自己防衛に対する半額補助がある。ヒヨドリは有害鳥獣の捕獲対象に入っている。ヒヨドリ対策の予算計上はない。理事者協議とそ

	こまでの協議はない。
吉村議員	フランスには何の目的で行って、議会、町民に報告はないのか。
松本農林課長	出張に関しては県事業の一環で、河内晩柑の販売促進。理事者に復命は済んだが議会には報告していない。広報の件は理事者協議したい。
金繁議員	農業を縮小するばかりで、この予算要望はどうしたのか。 各課で予算要望をつくって出して、それを手続等の流れとして、理事者と話し合うという機会っていうのが一般的にないのか。総合計画に基づいた計画予算要望ではないのか。
松本農林課長	新規要求や大幅な増額である要求の場合は事前に理事者と協議をする。そのほか、農林課に限っては、査定のときに協議する状況。
金繁議員	予算要望の前に話し合うことは愛南町ではないのか。
清水企画財政課長	理事者と意識を統一して問題に向かっていくということが必要で、そのようなことは都度都度やっている。新規の予算を計上したいということであれば、取りあえず各課が起こしていく必要がある。町長のマニフェストに向かった、各指示というか、各課協議というのは設けるような予定にしているので、さらに綿密な打合せみたいなのはしていきたいと思う。ヒヨドリについて、理事者に被害報告みたいなことはできなかったけれども、予算の要求の場ではヒヨドリの積算も入っている。要求の段階で一応、協議の場はあるということで御理解いただいたらと思う。
原田議員	ヒヨドリの件。
松本農林課長	確かにわなでの捕獲かすみ網は禁止。鉄砲で撃って持ってこられたら買取り。
(7款)	
金繁議員	255ページ、温泉事業等特別会計繰出金が増えた理由。
入江一本松支所長	令和6年度4870万円、令和7年度が4600万円で減額。 令和4年度から増えているが、主に物価高や人件費、燃料費によるもの。
少林議員	起業化支援の件、企業化した人はいるか。
兵頭商工観光課長	愛媛県の産業振興財団の企業に関する補助金の採択を受けている事業者で、最終的には法人までいく事業者に対して助成する補助金のため3年ほど申請は出ていない。セミナーを受けた方で、創業した人はいない。
金繁議員	269ページ、あけぼの公園の遊具改修工事の内容。
入江一本松支所長	使用不可となっていたロープウエーと遊具の更新整備。コンビネーション遊具の滑り台の取り替え交換の予定。
(8款)	
金繁議員	建設費の大きく伸びた理由。
清水企画財政課長	学校施設の防災機能強化の空調の3億円、消防の通信指令システム運用管理事業消防デジタル無線改修2億1500万、御荘保育所の空調改修6100万、柏保育所の管理運営大規模改修4800円などが主な要因。
金繁議員	281ページ、住宅改修事業。
	ガス設備の改修設置に6年かけることについて
吉村建設課長	猪ノ尻西団地1棟は、トイレ手すり等の工事。中原住宅設置設備改修工事は、県と

	協議し前倒し的な予算の問いかけはしている。問題は設計になる。できる限り前倒しができるような形で7年度協議を進める。
金繁議員	ガス器具を取り替えるときに配管まで取り替え、20万のガス器具の設置料を請求されるという住民の声がある。
吉村建設課長	取り替え20万について、どういう形で取り替えられとるのかというところが現時点では確認はできない。個人の事由によるものか、私どものほうで再度確認し、また必要最少最低限、町がやるべきことであれば、その分についてはどう考えるか、やれるかどうかは、団地ごと、住宅ごと、という縛りの中で進めていきたいと思っている。
吉村議員	40番札所に真っすぐ上がる道の計画立ち消えについて。 回答いらいないが要望のあった観光協会の場所は。
吉村建設課長	事業中止になっていると聞いている。代替として商工会を30メートル上の跡地を寄附があり駐車場ないし道路改良という形で計画依頼。建設課として入口の空家について投げかけをおこなっているところ。
(9款)	
鷹野議員	291ページ、消防団運営事業から消防施設整備事業の間、詰所の利用制限について。
浅海消防長	全分団にアルコールを伴う飲食は禁止という通知を出して、その指示が守られているという理解。
鷹野議員	詰所の階段がさびている。
浅海消防長	要請があれば、原材料支給等で修繕とか塗装とかも考えられるが、業者でないとできないということであれば、修繕費も計上している。
原田議員	295ページ、消防団設備整備事業、その中の脇本消防倉庫、新築工事について脇本地区で3名の消防団員が集まれるか。岩水支部との統合の考えは。
浅海消防長	中玉支部全体では登録は5名。処理もできないようであれば宿毛の消防の要請を求めるとか対処したいと考える。統合の考えはないが持ちかけてみるようなこともしたい。
吉村議員	あえて新築要るのか。
浅海消防長	団員数は少ないが車をそこに置いて、車庫の整備をしたい。
金繁議員	現実的に考えたらここはさらに少なくなるわけで、車を買ったところで、何をするのか。消火栓があるけど、ホースはゼロということで、消火作業は独立してできない。見直して、連携をどうするのかっていうところをつめるべきではないか。
浅海消防長	宿毛市とは、西南区域の消防総合連携という協定を結んでいるので、ある程度カバーできると思う。 消火栓は、脇本中玉地区は、水道の本管が40ミリ、40ミリの消火栓もあるが、消防署でポンプ車で行く場合は消火栓は口径が小さ過ぎて、水量がなくて使えないということなので、海水を考えている。ただ初期消火には小さい口径でも、有効だと思うので、地区の区長と、消火栓ボックスの中の資機材は整備をするかどうかは、協議をさせてもらおうと思う。 脇本の車両はあるので、その車両を守るために、車庫の整備、新築工事をするこ

	は理解していただきたい。
金繁議員	空家や駐車場もあると思うのでお金をかけずにまず探すのはどうか。
浅海消防長	空家探しは想定していなかったので即答できない。今の車庫が37年経って古いので新築したい。
鷹野議員	40ミリの消火栓ボックスを備えるべきでは。 65ミリは、消火栓使えないが、65ミリの可搬で、海からとって消火するとかいうことはできるので理解いただきたい。
(10款)	
少林議員	297ページ、外国人英語指導助手の設置について 何名、国籍等の多様性の精査は。
坂本学校教育課長	299ページ、南宇和高校の魅力化で魅力化推進の委託料は。 外国人英語指導助手の人数は、4人。南アフリカ出身の方がいると記憶している。 南高の魅力化推進事業の委託料1083万5000円 アドバイザー業務、魅力化コーディネーター採用支援業務。 8年度からは南高の全国募集の取組みを予定。
少林議員	文化の交流という面でも、多様な人材を雇ってほしい。
坂本学校教育課長	ALTの採用はJETプログラムという専属のALTを派遣する団体に依頼しているの で、更新時期がきたら十分注意し依頼したい。
金繁議員	309、313ページ、小学校通学バス運行事業及び中学校通学バス運行事業。 要綱はできたか。対象者についてはどうか。
坂本学校教育課長	総務課で内容の協議中、4月1日施行を予定。 対象者はこれまでと同様で学校の統廃合によって、学校から遠くなった地域の児童 生徒、あと一つは路線バスが廃止したことによって通学の手段がなくなった児童生 徒の2種類。
尾崎議員	南高の魅力化の推進事業について サポート体制として、寮の整備の考えはないか。
坂本学校教育課長	全国募集につきましてはあくまでも県立高校である南高が主体。具体的な話までは 行ってないので、今後、南高と詳細を調整をしながら、全国募集の準備に向けて取 りかかる状況。
池田議員	299ページ、学校施設防災機能強化事業、小学校中学校の体育館の空調設備に ついてエアコン設置して非常電源は。
坂本学校教育課長	7年度の空調整備の3億円の予算の中には、非常用電源の予算は含まれてない。ま ず平時に利用する児童生徒の熱中症対策として導入する。 整備の目的の一つに大規模災害時の避難所という大きな目的もあるのでその準備 をしていくことは重要と認識。非常用電源を導入する場合、設置費用が1500万円か ら3500万円が見込まれており年間保守料もかかってくると聞いている。また大きさが 業務用冷蔵庫ぐらいで重さが11トンある。教育委員会だけでなく防災対策課とも 含めて十分に慎重に今後協議したい。
吉田議員	317ページ、御荘中学校のLED化改修工事とあるが、城辺中学校のLED化は。

坂本学校教育課長	個別施設計画に沿って順番に整備をする予定。
金繁議員	愛南町の多文化共生に向けての取組について 外国人の方が労働者も含め増えている。コミュニティの中でのいじめ。
織田生涯学習課長	生涯学習課は、そのような事案は報告を受けてないところ。今後そういったことの必要性和かも高まってくることが予想されるの人権団体等と協議しながら進めたい。
金繁議員	事例については総務課に伝えてある。 335ページ、公民館事業について 鳥取島根方面の自治体を議会で視察した。そのような取り組みをしてほしいということで町からも前向きな回答があったがその後はどうか。
織田生涯学習課長	2点目は公民館で、兼任は解消されたのか、正規の職員に限っているのか。 公民館自体はそれぞれの地域で、歴史を持って活動されてきた。地域の実情によって一律の改編というのは難しいところは承知しているが人口減少が進む中、必要性もあると考える。 公民館主事の兼任の解消の点は、恐らく以前に指摘された頃に比べれば、兼任は少なくなっているが完全ではない。
金繁議員	主任が正規の職員でない公民館は。対応が今まで違うので戸惑う。
織田生涯学習課長	会計年度任用職員を充てている例もある。 正確には把握していないが、家串、中浦、赤水、僧都、深浦、長月公民館。
清水企画財政課長	当時の担当課長だったので補足。公民館主事が、その当時は兼務で配置さなかったが今は解消し会計年度任用職員を配置している。公民館事業として成立するのであれば会計年度任用職員で対応する。 島根県の公民館を視察した際に、そのときは、地域の人材を育成する、これが一つの大きな目標目的だったと思う。それ以降、公民館の運営審議会の中でも基本目標でも、地域の人材を育てる、公民館主事が動くのではなくて、動いてくれる地域の人材を育てることを一つの大きな目標として活動した。公民館の目標の中に、地域の子供たちの事業を必ず1回はするというような目標を掲げて、各公民館が頑張ったという経緯がある。島根県の研修以来、事務的に地域を盛り上げるために、公民館主事が頑張っているというのが実情。
金繁議員	正規職員の公民館と非正規職員の公民館があるのはなぜか。 同じ職務と責任でありながら、正規か非正規か。
清水企画財政課長	今の会計年度任用職員は役場を退職された方で、能力的には、決して一般職員と分け隔てがないと感じている。その中でできる業務をお願いしている。改良すべき点は今後考えていきたいが人事担当課と生涯学習課の協議になる。
金繁議員	375ページ、御荘文化センター図書室運営事業。図書館司書という専門職でありながら雇われているのは、非正規の会計年度任用職員。正職扱いするべき。
立花総務課長	2款の総務費の71ページで、会計年度任用職員管理事業運営事業というところでの事業予算を立てている。
少林議員	心の教育推進事業、いじめ問題対策連絡協議会とかいじめ防止の対策委員協議会について。子供のほうも教員のほうも心を病む場合に、第三者的な機関はある

か。

坂本学校教育課長 いじめ問題対策連絡協議会は、基本的に年1回開催。具体的な案件が出れば、その都度開催する。メンバーは大学の先生、警察署、町の顧問弁護士、学校の校長先生等。第三者機関は、いじめ問題に限らず、学校に行きづらい、子供さんがあった場合の支援する場所として子ども支援センターを旧満倉小学校に設置。教職員は県の職員になるので直接町が予算を組むことはないが、県で教職員向けの心のサポート相談、産業医に相談するとかは聞いている。

吉村議員 377ページ、文化センターの修繕について、古くなって中長期的にみて、議会に1回検討しては。

宮本御荘支所長 緊急修繕料、誘導灯非常音響装置、支所の入り口扉の修繕を計上している。文化センターが30年を超えてるということで、今後の修繕計画について見直しする計画を策定している。

(11款、12款、13款、14款)

質疑なし

(歳入)

鷹野議員 空家を撤去したら固定資産税が上がることにについて

山本税務課長 空き家除却に係る固定資産税の減免で除却をした場合は、5年間、除却する前と同額の固定資産税とする。

(第2表、債務負担行為及び第3表地方債)

質疑なし

議長